

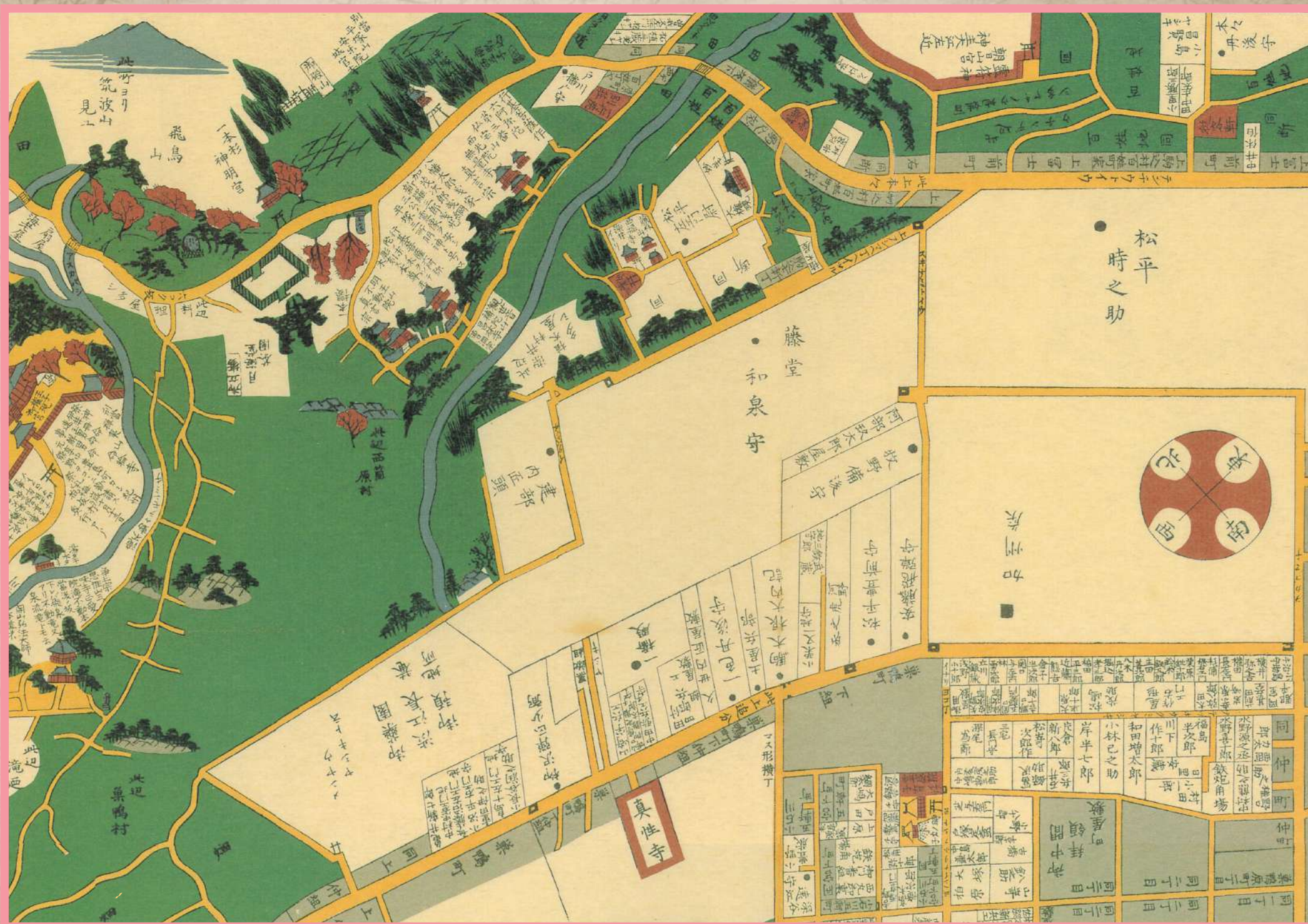


桜物語

染井の里 駒込

染井よしの桜の里駒込協議会

ソメイヨシノのまち駒込
桜と名所を訪ねて
ぶらりと散歩しませんか？



嘉永7年(1854)染井・王子・巢鴨辺図 豊島区立郷土資料館蔵

老舗の味 季節の味

御菓子司 中里

南蛮焼・揚最中
駒込駅東口1分
営業時間：平日10:00～18:00 土祝10:00～17:00(日曜休)
☎03-3823-2571

CoCo壱番屋 豊島区駒込店

TEL 03-5961-6855 FAX 03-5961-6855
〒170-0003
東京都豊島区駒込二丁目6番4号ツミビル1階

野菜・果物のことなら
霜降銀座 中央
(株)細野商店
TEL.03 (3910) 4668
FAX.03 (3910) 4160

店内にある700ℓのサマータンクから瓶詰めする日本酒です。
純米吟醸生原酒 **桜の里 染井**
手書きでメッセージを書き込めるラベルもご用意しております。
3月21日より「染井桜」販売開始 数量限定につきお早めにご予約
染井の酒屋 三木酒店
豊島区駒込3-29-7 染井銀座商店街
☎03-3918-5383 Email mikisake@theia.ocn.ne.jp

JR-EAST HOTEL METS KOMAGOME
JR駒込駅南口から徒歩1分
〒170-0003 東京都豊島区駒込2-1-39
http://www.hotelmets.jp/komagome/ ☎03-5319-0011 Fax 03-5319-0015

駒込の老舗チョコレートメーカー
芥川製菓 池袋ISP直営店
創業1886年
伝統の味をどうぞ
☎03-5955-7311
JR池袋駅より徒歩1分
豊島区南池袋1-29-1 ISP南館
http://akutagawaseika.co.jp

桜ウッドの緩やかな煙で仕上げた
薫り高い燻製料理のおもてなし

燻製居酒屋 くゆり
-KUYURI-
[Lunch平日] 11:00～14:00
[Dinner月～土] 17:00～22:40(L.O.22:00)
定休日 日曜日、祝日の月曜日
東京都豊島区駒込2-2-1
駒込駅北口交番裏 徒歩1分
TEL 03-6903-7179

(株)サカガミは戦後、染井銀座商店街よりスタート致しました。商店街をさらに盛り上げていくイベント等を開催し、お客様より大変御好評を頂いております。

Sakagami
Quality Foods Market since 1894
サカガミ 駒込本店 豊島区駒込 6-35-1
TEL 03-3918-5355
HP http://www.sakagami-cl.co.jp

SUGAMO SHINKIN
Hospitality
私たちにとってのホスピタリティは、「人に対する優しさや思いやりを心根にもつことです。」
喜ばれることに喜びを
巢鴨信用金庫
駒込支店 駒込3-3-20 ☎03-3918-1201

Thank you 100th Anniversary
Komatsuan Schohoku
かわりつづけた100年
かわらない想い
小松庵総本店 駒込本店 六義園染井門前
東京都豊島区駒込1-43-16 Tel.03-3944-8385
https://komagome.komatuan.com/

染井の植木屋たち

万延元年(1860)に来日したイギリスの植物学者ロバート・フォーチュンは、上駒込村染井の植木屋について、その著「江戸と北京」の中で次のように述べている(「染井村の杜観」部分)。「交互に樹々や庭、恰好よく刈り込んだ生垣がつづいている、公園のような景色に來たとき、隨行の役人が染井村にやっと着いた」と報せた。その村全体が多くの苗圃園で網羅され、それらを連絡する一直線の道が、1マイル以上も続いている。私は世界のどこへ行っても、こんなに大規模に、売物の植物を栽培しているのを見たことがない。植木屋はそれぞれ、3、4エーカー(約4000坪)の地域を占め、鉢植えや露地植えのいずれも、数千の植物がよく管理されている。(後略)

文中の「一直線の道」とは、駒込駅方面(上図「松平時之助」右上部分)から染井盡園(上図「建部内匠頭」部分)へと続く現在の染井通りを指している。江戸時代後半期の染井通り沿いには多くの植木屋が集住し、それぞれが植木や鉢植えを栽培・販売していたわけである。

日本を代表する桜の品種として知られているソメイヨシノは、染井の地が発祥とされている。長年にわたる植木屋たちの活躍により、この地で新たな品種が誕生する素地が形成されていたのである。

[豊島区立郷土資料館監修]

染井吉野 発祥の地 駒込

東京で代表的なさくらといえば、ソメイヨシノ(染井吉野)。その発祥の地は、江戸染井村です。現在の豊島区駒込です。ソメイヨシノは、オオシマザクラとエドヒガンザクラの交配種と言われており、幕末に誕生しました。明治時代には、奈良吉野山の山桜との混同を避けるため、**染井吉野**という名前がつけました。

染井よしの桜の里駒込協議会
駒込第一町会、駒込二丁目親和町会
駒込三丁目町会、染井よしの町会
駒込六丁目東文化会、駒込七丁目町会
アザレア通り商店街、駒込駅前通り商店街
駒込銀座商店街、染井銀座商店街
第10地区青少年育成委員会
駒込小学校PTA、駒込中学校PTA
駒込まちづくり協議会
区民ひろる駒込運営委員会
ソメイヨシノを育てる会
(高齢者クラブ)さくら会、七福会

豊島区立駒込図書館さくらデジタルコレクション 懐かしい都電の風景

昭和45年頃 都電19系統 駒込駅前通り商店街の街並み (株)カメラのハヤシ商事 店主 林幹夫さん撮影

昭和10年頃 都電車庫の絵 生粋の駒込人である原口時夫さん(昭和5年生)の作品

門と蔵のある広場のソメイヨシノ ポトマック河畔の桜

門と蔵のある広場にあるワシントンDCからの里帰り桜について

1912年に日米の友好の証として、日本からワシントンDCにソメイヨシノをはじめとする桜の苗木が贈られました。苗木が植えられたポトマック河畔は、アメリカで有名な桜の名所となりました。寄贈からおよそ100周年を迎えた2015年3月、(公財)日本さくら会より、ソメイヨシノ発祥の地である駒込に、ワシントンDCの桜の苗木を贈呈いただき、石碑が立てられました。

お買い物は地元で安心
KOMA GOME
駒込さつき通り
駒込銀座商店街

NPO法人(特定非営利活動法人)「としまの記憶」をつなぐ会
https://movie.toshima-kioku.jp

NPO法人「としまの記憶」をつなぐ会(平成24年設立)。戦前から戦後そして令和へと駒込に根差す人々の生活・想い・懐かしい記憶(9話)、「記憶の遺産2013」より)をご紹介。地域への温かい気持ちで溢れています。

「としまの記憶」動画アーカイブ「駒込」

伊達家屋敷を受け継ぐ女子栄養大学 香川芳子さん
染井通りとソメイヨシノ 金井皓子さん

女子栄養大学の場所は、昔、伊達政宗の下屋敷で水戸黄門がよく遊びに来たという。黄門様が椎の木を植えられ、それは「黄門権」と呼ばれる。

江戸時代には植木屋が多く、特に染井吉野を作った伊達伊兵衛は有名。染井通り沿いにあった松平家の家臣屋敷の塀の穴から皆で潜り込み遊んだ。

石像のウワサと駒込の変化 金井皓子さん
焼け野原にあった背の高い石仏があり「動かすと祟る」と言われ怖かった。藤堂高虎が朝鮮征伐の帰りに、船底に置いて積んできたものらしい。

藤堂家に入りしていた植木屋の先祖は裏門を下覗された。昔はその門に乗り遊ぶ子どももいた。公園を作ると当たって現在の位置に曳家した。

商店街で買物をしてポイントを貯めよう!
そめいmyカード会員募集中!!
染井銀座商店街サービスセンター
豊島区駒込6-28-6 ☎03-3915-3234

孫娘が語る芥川製菓 安島里子さん
昭和、駒込の原っぱ 安島里子さん
温かい和やか

豊島区の名産に選ばれた芥川製菓のチョコレートは、当時は、特別な食べ物だった。人々の口へ届けるために努力をかきた会社史がある。

子ども達にとって遊び場だった原っぱは小さい丘でタンボも咲いていた。紙芝居や風あけの思い出。そして古き昭和時代の親の顔につづ語る。

駒込再開発と都電車庫 原口時夫さん
情の町、昭和の駒込 安島里子さん
駒込地区の都電の車庫は絶対の遊び場だった。都電の思い出とともに、車庫がなくなったあと、地区発展のために動いた住民パワーについて語る。

ゴザ敷いて夏の「青空映画会」で見た活動写真やラジオ体操などの小学校の思い出。どんな時にも人情味溢れる駒込には子どもの声も聞こえた。

駒込の空襲 原口時夫さん
駒込から巢鴨そして池袋までのB29の空襲に遭い、焦土化した。そんな中、もともと身体は丈夫な子どもでもはなかつたが元気に生き延びてきた。

MENU
春の宿るカフェ
桜キッチンカフェ
11:00-17:30 火水定休
1F テラスペット OK, 2F キッズ小上がり席
3F 屋上 電車を見下ろすくつろぎのテラス

お散歩マップ

Stroll Map

駒込 染井

- 1 勝林寺**
元和元年(1615)創建の臨濟宗のお寺。日本の経済の礎を築いた老中・田沼意次の菩提寺。本尊である釈迦如来像は関東でも一番古い平安時代初期のもので、豊島区の有形文化財に指定されている。現在の建物は、2017年に建て替えられ本堂・納骨堂はグッドデザイン賞を受賞。春には本堂風の枝垂れ桜が咲き誇る。[駒込7-4-14]
- 2 蓮華寺**
顕本法華宗、法林山。1618(元和4)年、下谷坂に創建、1907(明治40)年、現在地に移転。[駒込7-2-14]
- 3 専修院**
1908(明治41)年に浅草から移転。浄土宗、正業山迎接寺と号す。植木屋・伊藤伊兵衛の屋敷跡として知られている。なかでも3代目の三之丞は、ソツジの栽培に力を注ぎ、染井のツツジは江戸の名所として一躍有名に。この地を中心に染井村は園芸の里として賑わった。[駒込7-2-4]
- 4 十二地蔵**
1730(享保15)年の大火による犠牲者の冥福を祈るために建立と伝えられる。十二体の地蔵の上部に描かれているのは地震ではなく、大火の際の「火」が「煙」か。[駒込7-3-2]
- 5 染井霊園**
1872(明治5)年に雑司が谷霊園とともに開設された都営の共同墓地。以前は、建部内匠頭下屋敷で、現在の豊島市場側には谷戸川の源泉の長池があった。二葉亭四迷、高村光太郎、岡倉天心、菅原喜重郎など著名人の墓がある。[駒込5-6-1]
- 6 天理教東京教務支庁**
[駒込7-1-1]
- 7 泰宗寺**
曹洞宗、法輪山。慶長年代茅場町に起立。1633(寛永10)年に下谷稲荷町に移転、1908(明治41)年に現在地へ移転。[駒込7-1-1]
- 8 法成寺**
顕本法華宗、実妙山。1610(慶長15)年、京都に起立し、1644(寛永21)年に浅草新町へ移転、1943(昭和18)年、現在地へ移転。[駒込6-8-11]
- 9 染井銀座商店街サービスセンター**
区内でも有数の商店街。染井銀座通りは、もともと谷戸川(谷田川)を暗渠にした川筋にある。この川は、染井霊園内の日長池を水源とし、本郷通りとの交差点の「霜降橋」はその名残り。田端、日暮里付近では染井川と呼ばれ、不忍池へ。[駒込6-28-6]
- 10 旧古河庭園**
国の指定名勝。もと明治の元勳陸奥宗光の邸宅。後に古河財閥の所有となり、1919(大正8)年に洋館と洋風庭園、日本庭園という現在の形に整えられた。大正初期の庭園の原型をもとどめる貴重な存在。毎年春と秋に「バラフェスティバル」開催。[北区西ヶ原1-27-39]
- 11 女子栄養大学**
かつて伊達政宗が築の下屋敷を置いた場所。元禄年間に徳川光圀が名付けた「松栢軒」という名称が学内のシラカバに愛称がつけられている。香川界三と縁が1942(昭和17)年、この地に完成させた女子栄養学園の新社舎は震災で焼失したが、病気を未然に予防する栄養教育を旨とした香川界三の尽力により再現。「実践栄養」の発祥の地でもある。[駒込3-24-3]

- 12 妙義神社**
「日本武尊(やまとたけるのみこと)が東征の時、降宮を構えたと伝えられる区内最古の由緒ある社で祭神は日本武尊。江戸城を築いた太田道灌が、足利成氏との合戦の際に、ここに詣でて勝利をおさめたため、「勝ち戦(かちいくさ)の宮」とも呼ばれる。[駒込3-16-16]
- 13 子育て地蔵**
本郷通り妙義坂の途中にある。創建年は不詳。城官寺(北区上中里)の境外地蔵として祀られた。[駒込2-6-15]
- 14 大國神社**
天明3年に創建され、祭神は大國主命(おおくにのみこと)。甲子祭には大影の大神像を搬入している。徳川家康が、豊洲の隅にこの神社に立ち寄り、その後に11代将軍となったので、出世大國といわれる。[駒込3-2-11]
- 15 染井吉野桜記念公園**
ソメイヨシノの原種といわれるエドヒガン桜の様々な種類の桜が植えられている。公園の隣にはソメイヨシノの苗床がある。[駒込6-3-1]
- 16 駒込公園**
[駒込2-3]
- 17 駒込地域文化創造館・図書館**
1981(昭和56)年、区内では3番目の社会教育会館として開設。2006(平成18)年に、生涯学習から文化芸術活動と地域コミュニティの拠点としての機能を加え「地域文化創造館」と名称を変更。[駒込2-2-2]
- 18 駒込駅**
JR駒込駅のツツジは、1910(明治43)年の駒込駅開業を記念して、近隣の植木屋さんによって植えられた。ホームに立つと線路沿いのツツジ群を一堂に眺めることできる。電車発車のベルは、「さくらさくら」。[駒込2-1-1]
- 19 日枝神社**
祭神は大山咋神を主神とし、素戔鳴尊、大己貴尊、少彦尊を合祀。江戸時代は「朝日山宮」といわれ、崖の上からの眺望に優れ、歌人や俳人が来訪しては宴を楽んでいたという。[駒込1-30-12]
- 20 駒込東公園**
[駒込1-22]
- 21 福壽院**
曹洞宗、從容山。江戸時代は從容軒といひ、修徳尼で賑わう尼寺であった。豊島区の三尼院の一つ。上駒込村名主の高木家の娘が、江戸城大奥勤めとなり28歳で大奥を辞した後、ここに尼院を開く。修行僧が朝夕にお供えを持って托鉢したことから、この辺を「おわん横丁」という。[駒込1-6-8]
- 22 木戸孝允別邸跡**
明治の元勳木戸孝允の別邸跡。「明治天皇行幸所木戸舊邸」の石碑が残る。[駒込1-10-14]
- 23 六義園**
国の特別名勝。1695(元禄8)年、徳川綱吉より下屋敷として与えられた柳沢吉保自らが設計指揮し、7年の歳月をかけて「回遊式築山泉水庭園」を造り上げた。明治、岩崎弥太郎の所有となり、1938(昭和13)年には東京市に寄付され一般公開。庭園内のシラザクラは、薄紅色の花が流れ落ちる滝を彷彿とさせ、その姿は狂巻である。[文京区本駒込6-16-3]
- 24 駒込中学校**
1952(昭和27)年9月30日、旧大塚中学校から分れて開校。[駒込4-5-1]
- 25 門と蔵のある広場**
かつての染井の植木屋、丹羽茂右衛門家の屋敷跡の一部。門は、旧藤堂家下屋敷(現本郷学園校地)から移築と伝えられる。蔵は国の登録有形文化財。2009(平成21)年3月、近隣の旧興銀住宅跡を整備された「染井よしの桜の里公園」とともに開園。[駒込3-12-8]
- 26 駒込小学校**
1917(大正6)年、仰高東郷尋常小学校として設立。1949(昭和24)年に駒込小学校となる。福島県郡山市高野小学校と姉妹校締結。1952(昭和27)年に植えられた校庭栗のソメイヨシノは、「駒桜」として子供たちに親しまれている。[駒込3-13-1]
- 27 西福寺**
染井の植木屋の菩提寺として有名。8代将軍徳川吉宗に氣にいらされ、江戸城内の庭師も務めていた植木屋、伊藤家4代目の伊兵衛政武の墓もあり、貴重な園芸書「地錦抄(ちきんしょう)」も保管。山門右手には、区内最古の六地藏がある。真言宗豊山派、藤林山歡喜院と号す。[駒込6-11-4]
- 28 染井稲荷神社**
旧上駒込村の字染井の鎮守。江戸時代は福徳寺が別当だった。本殿には、俵藤太むかご退治の絵馬がある。ご神体は土地面観音石像。祭神は、食倉神、大山祇命。[駒込6-11-5]
- 29 染井よしの桜の里公園**
園内には、ソメイヨシノやエドヒガン桜の様々な種類の桜が植えられている。公園の隣にはソメイヨシノの苗床がある。[駒込6-3-1]
- 30 本郷中学校・高等学校**
旧高松藩主松平頼聡の子、頼壽により、1923(大正12)年、創立。学園の敷地は、津藩(三重県)の藤堂家下屋敷跡。染井の植木屋、伊藤伊兵衛は藤堂家出入の職人であった。[駒込4-11-1]
- 31 岩崎家の廟所**
[駒込5-3]
- 32 仰高小学校**
豊島区で最も歴史のある小学校。1876(明治9)年に、現在の文京区本駒込の長遠寺で開校。校名の「仰高」は、絵語から名付けられた。[駒込5-1-19]
- 33 豊島市場**
1937(昭和12)年、東京市中央卸売市場の豊島分場として開業。江戸時代は、幕府管理下の薬用植物を栽培する薬鴨菜園があった場所。豊島市場のものは、16世紀中頃、駒込天栄寺(文京区)の境内の「さいかち」の大神の下で下荷したのが始まりで、都内最古の市場と伝えられる。[豊島5-1-5]
- 34 眞性寺**
真言宗豊山派、医王山。開基は不明。1615(元和元)年に中興された。享保年間(1716~36)に深川の地蔵坊正元の発願で江戸の諸街道筋に設けられた「江戸六地藏」の第三番。入口付近に芭蕉の句碑がある。[豊島3-21-21]
- 35 高岩寺**
とげぬき地蔵で知られる。曹洞宗、高頂山。本尊は地蔵菩薩(延命地蔵)。1596(慶長元)年に神田湯島に創建。のちに下谷屏風坂(現岩倉高校)に移る。1891(明治24)年、薬師に移転。[豊島3-25-2]
- 36 慈眼寺**
1615(元和元)年、深川に建立。1912(大正元)年、現在地に移転。芥川龍之介、谷崎潤一郎、司馬江漢らの墓がある。日蓮宗、正寿山。[豊島5-35-33]
- 37 本妙寺**
法華宗、徳栄山。1571(元亀2)年に駿河に創建。その後各所を移転し、1910(明治43)年、本郷丸山から現在地へ移転。遠山金四郎、千葉周作、歴代本因坊らの墓がある。久世家歴代の墓所。明暦の大火の供養塔もある。[豊島5-35-6]

桜のふるさと 江戸染井村産
純米吟醸
そめいぎくわ
染井桜
春だけの限定発売。
“サクラを楽しむお酒。”
3月21日(火・祝)発売!!
染井桜 Q検索
染井櫻実行委員会事務局 TEL:03-5974-1171